

指標 8.1.1

指標名、ターゲット及びゴール

指標 8.1.1 一人当たりの実質 GDP の年間成長率

ターゲット 8.1 各国の状況に応じて、一人当たり経済成長率を持続させる。特に後発開発途上国は少なくとも年率 7% の成長率を保つ。

ゴール 8 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する

定義及び根拠

○ 定義

一人当たり実質 GDP の年間成長率は連続する二年間の一人当たり実質 GDP の変化率から計算される。一人当たり実質 GDP は実質 GDP を人口で除すことで求める。

○ 概念

国内総生産（GDP）：国内総生産は、生産者による国内生産活動の結果、生み出された付加価値の総額である。

実質 GDP：国内総生産について、価格変動の影響を取り除いて評価したものである。

○ 根拠及び解釈

一人当たり実質 GDP は、その国または地域の居住者の平均生活水準を示す指標であり、その増加は平均生活水準の向上と解釈できる。

データソース及び収集方法

GDP に関するデータは内閣府『国民経済計算』、人口に関するデータは総務省『国勢調査』『人口推計』による。

算出方法及びその他の方法論的考察

○ 算出方法

一人当たりの実質 GDP = 実質 GDP ÷ 国内総人口

○ コメントと限界

なし

データの詳細集計

なし

参考

なし

データ提供府省

内閣府経済社会総合研究所

関連政策府省

内閣府

担当国際機関

国連統計部 (UNSD)